平成２５年１月８日
相模原市報道提供資料

平成24年中における火災の概要（速報値）

前年と比較すると、火災件数が45件減少しました。

① **火災件数は186件、前年比45件の減少**

火災件数は186件で、前年より45件減少しました。

火災種別ごとに見ると、建物火災は25件(20．0%)、林野火災が2件（66．7%）、その他の火災が25件（31．3%）減少しました。逆に車両火災は7件（30．4%）増加しました。

② **出火原因の第1位は「放火（放火の疑い含む）」、続いて「たばこ」「こんろ」**

全火災186件を出火原因別にみると「放火（放火の疑い含む）」37件(19．9%)、「たばこ」26件（14．0%）、「こんろ」21件（11．3%）、「配線」11件（5．9%）の順となっています。

③ **火災による死者は8人、前年比6人減少**

火災による死者は8人で、前年に比べると6人減少しました。火災種別ごとにみると、すべて建物火災における犠牲者となっています。死者8人の内1人が放火自殺によるものです。負傷者についても、39人で前年より3名減少しました。

④ **り災世帯及びり災人員が減少**

り災世帯は、18世帯（16．4%）、り災人員も54人（21．6%）減少しました。

⑤ **建物焼損棟数、損害額は減少、焼損面積は増加**

焼損棟数は32棟(18．9%)、損害額は1億 7,140万7千円で2,334万7千円（12．0%）減少したのに対し、焼損面積は573㎡（22．6%）増加しました。

◆火災の原因のトップが放火

相模原市では昭和６１年以降放火が火災発生原因の第１位で、全国的にみても毎年増加傾向にあります。放火による火災から身を守るには、整理整頓と監視が大切です。下記のチェックポイントにそって一度身の回りを点検してください。

☆☆☆放火防止のための安全チェック☆☆☆

- □ 家の周りに燃えやすいものを置かない、また枯れ草は刈り取っておく
- □ ごみは、決められた日時に出す
- □ センサー付きライトなどを設置し、夜間も家の周りを明るくしておく
- □ 物置や車庫にはカギをかける
- □ 車やオートバイのカバーには、防炎製品を使用する

◆火のそばを離れない

住宅火災の原因は毎年「こんろ」によるものが上位を占めます。中でも天ぷら油による火災は、危険性が広く知られているにもかかわらず、減少する傾向にありません。「少しだけなら」と火のそばを離れるのは、絶対やめてください。こんろを使用しているときは、どんな場合でも火を止めるまでは、目を離さないようにしましょう。

◆ライターの火遊びによる火災を防ぎましょう。

子どもの火遊びによる火災のほとんどがライターによるものです。ライターの火遊びによる火災を防ぐには、周囲の大人の注意が欠かせません。次の点に注意しましょう。

- 子どもの手の届かないところにおきましょう。
- 子どもに触らせず、火遊びの危険性を教えましょう。
- 不要なライターはきちんと処分しましょう。
- 子どもが簡単にいたずらできないライター（チャイルドレジスタンス機能）を使いましょう。

◆住宅用火災警報器の設置はお済みですか。

住宅用火災警報器を取付けていたことにより、火災になる前に異常に気付き、「火災に至らなかった」という事例が増えています。

まだ取付けていないお宅は早めの設置をお願いします。

既に取付けているお宅では、取扱説明書を確認し、維持管理に努めましょう。

問い合わせ先
消防局予防課
042-751-9133

資料1

火災概要

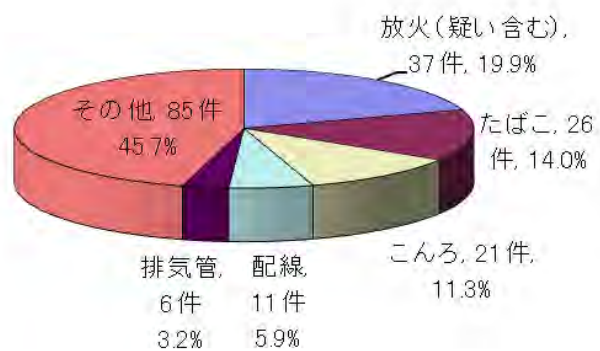
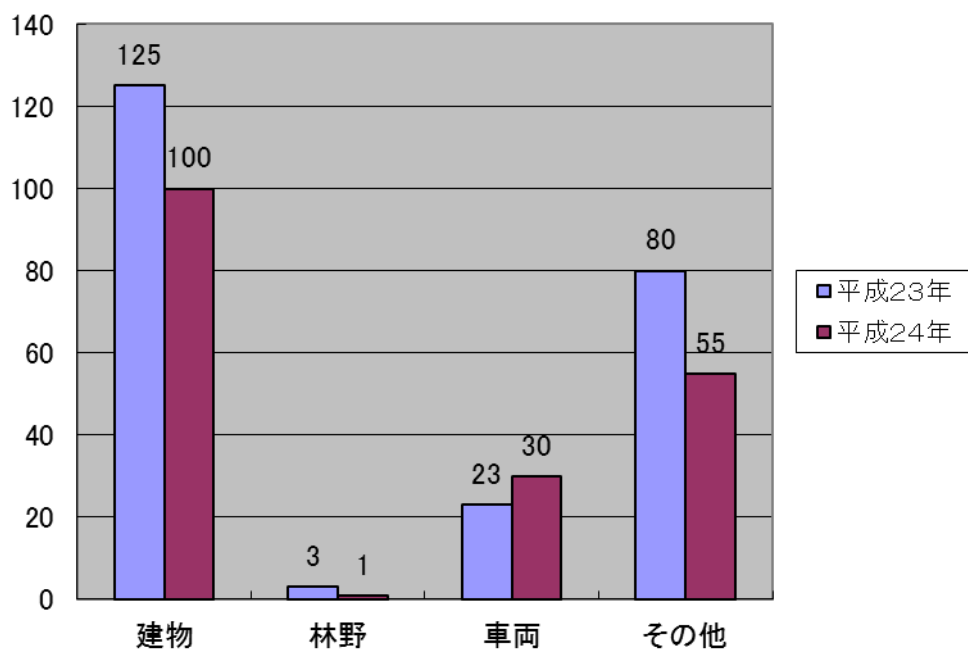
項　　　目		平成24年	平成23年	前年増減
合　　計		186(100%)	231(100%)	▲45
火災種別	建　　物	100(53.8%)	125(54.1%)	▲25
	林　　野	1(0.5%)	3(1.3%)	▲2
	車　　両	30(16.1%)	23(10%)	7
	そ の 他	55(29.6%)	80(34.6%)	▲25
原因別	失　　火	130(70%)	172(74.4%)	▲42
	放火(疑い含む)	37(20%)	45(19.5%)	▲8
	不　　明	19(10%)	14(6.1%)	5
建物焼損面積(㎡)		3,113	2,540	573
焼損棟数		137	169	▲32
り災世帯		92	110	▲18
り災人員		196	250	▲54
死　　者		8	14	▲6
負傷者		39	42	▲3
損害額(円)		1億8187.0万円	2億2389.7万円	▲4202.7万円

出火原因

平成24年　186件			平成23年　231件		
順位	出火原因	件数	順位	出火原因	件数
1	放火(疑い含む)	37(19.9%)	1	放火(疑い含む)	45(19.5%)
2	たばこ	26(14.0%)	2	たばこ	36(15.6%)
3	こんろ	21(11.3%)	3	こんろ	27(11.7%)
4	電灯等の配線	11(5.9%)	4	火遊び	16(6.9%)
5	排気管	6(3.2%)	5	ストーブ	12(5.2%)
そ の 他		85(45.7%)	そ の 他		95(41.1%)

資料２

平成24年中の主な出火原因
放火（疑い含む），37件，19.9%
たばこ，26件，14.0%
こんろ，21件，11.3%
配線 11件 5.9%
排気管，6件 3.2%
その他 85件 45.7%

火災種別ごとの件数
140
120
100
80
60
40
20
0
125
100
3
1
23
30
80
55
建物
林野
車両
その他
平成23年
平成24年

平成２４年中における救急の概要（速報値）

４年ぶりに救急出場件数は、０．１%減少、搬送人員は、０．４%減少しました。

平成２４年中の救急出場件数は３２，２１８件（対前年比２７件減、０．１％減）搬送人員は２９，３９０人（対前年比１２７人減、０．４％減）で、救急出場件数、搬送人員ともに４年ぶりに減少しました。

事故種別では、急病が２０，００５件（対前年比３７件増）で約６２．１％を占め、次いで一般負傷が４，０７４件（対前年比１０２件増）、交通事故が３，１７５件（対前年比１９０件減）の順となっています。

また、救急車の出場は、１日平均８８件、約１６分に１件の割合となっており、市民の約２２人に１人が要請したことになります。

救急出場件数や搬送人員は、昨年と比較して減少しましたが、入院を必要としない軽症者は１５，５９１人（対前年比１１９人増）で、昨年より増加し約５３．０％を占めています。

搬送人員のうち、軽症者が半数以上を占める状態が続くと、大怪我や心筋梗塞・脳卒中など、緊急に救急車を必要とする人が利用出来なくなることも懸念されるため、救急車を呼ぶ前には落ち着いて状況を判断して、緊急性の無い場合は自家用車やタクシー又は、患者等搬送事業者（民間救急）を利用する等、救急車の適性利用にご協力をお願いします。

また、夜間や休日における市内の医療機関の案内は、相模原市救急医療情報センター【TEL０４２－７５６－９０００】で行っておりますのでご利用ください。

問い合わせ先
消防局警防・救急課
042-751-9142